

(様式2)

令和4年度佐賀大学研究者国際交流支援事業報告書

令和5年3月2日

国際交流推進センター長 殿

事業責任者(申請者)

所 属 経済学部

職 名 教授

氏 名 サーリヤ・ディ シルバ

下記のとおり令和4年度佐賀大学研究者国際交流支援事業の実施結果について報告します。

1.国際研究集会名	佐賀大学経済学会国際セミナー「日本で暮らす移民の雇用と教育を通じた受入国への統合～九州の事例を中心に～」		
2.事業責任者 (申請者)	サーリヤ・ディ シルバ	3.所属・職名	経済学部教授
4.開催期間	令和5年2月13日～令和5年2月14日		
5.申請区分	A) 学術交流協定(大学名) (B) 共同研究 C) 一般		
6.参加者数 ※参加者名簿(別添) を添付	参加者数 67名 内、 <u>外国人数 19名</u> 、 <u>研究者数 14名</u> 、 <u>学部学生数 24名</u> 、 <u>修士以上学生数 12名</u>		
7.招待講師	所 属 <u>ニュージーランド、カンタベリー大学</u> 職 名 <u>准教授</u> 氏 名 <u>Dr. Nadeera Ranabahu</u>		
8.支出額	金 額 <u>250,000 円</u> 【内訳】 謝金 <u>円</u> 旅費 <u>250,000 円</u> 消耗品費 <u>円</u>		
9.国際研究集会の内容	別紙1(日本語チラシ)、2(英語チラシ)参照		
10.事業実施による成果・今後の事業の発展等	・学内外から、対面とオンラインで参加があった。学生報告もあり、将来の研究者も含め、研究者間の国		

際交流が有意義にできた。

- ・本共同研究は、福岡・長崎・熊本・佐賀でのスリランカ移民の聞き取り調査の成果も踏まえて、3月までに査読付論文としてまとめる。
- ・共同研究を進めて8月にはもう1つ発表する予定である。
- ・本学部の公開講座「みんなの大学」の受講生や留学生と交流がある市民の方々の参加もあり、地域の国際化に貢献できた。
- ・NPOや企業とのつながりも深まり、今後の地域発展の一助になることが期待できる。

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。